

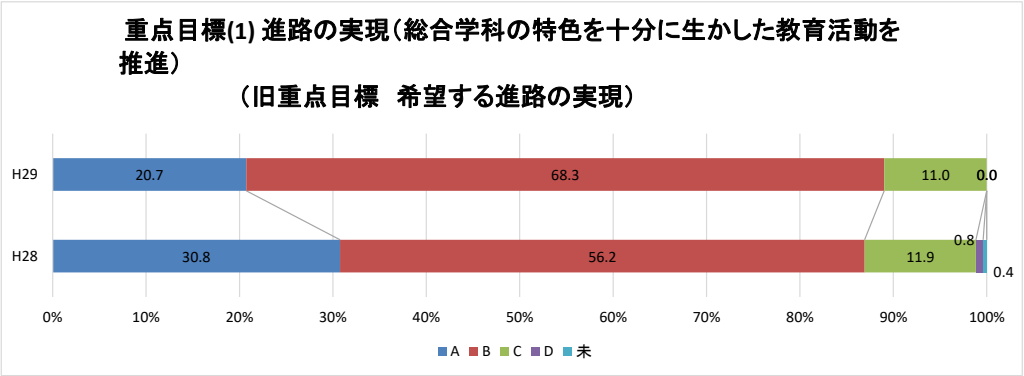
平成29年度 足利南高等学校 自己評価結果について

調査対象者 41名 提出率 100%

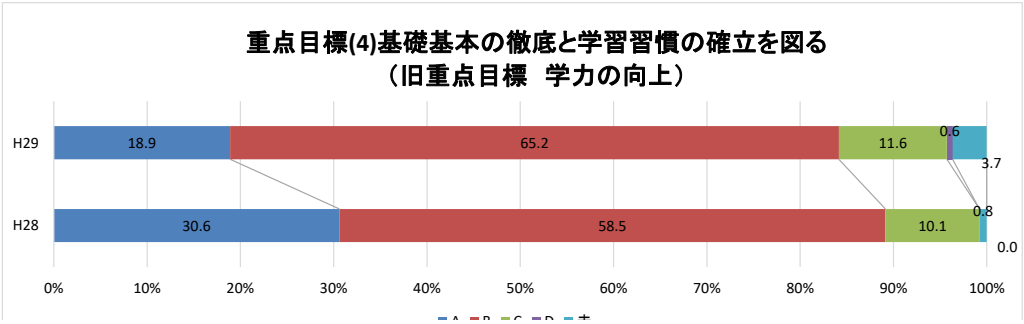
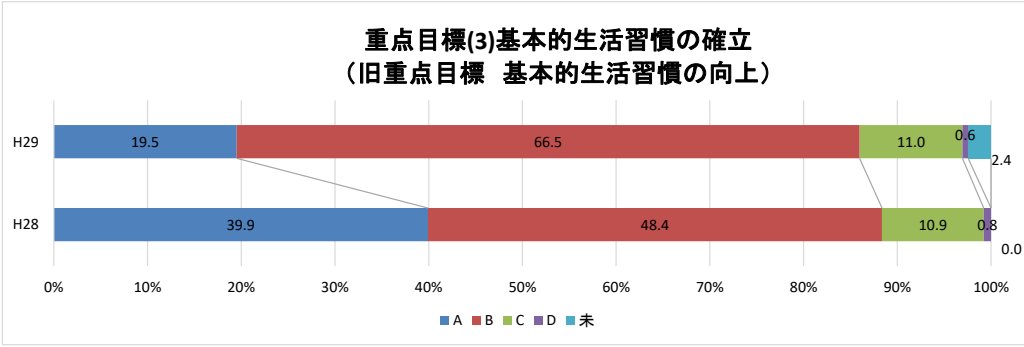
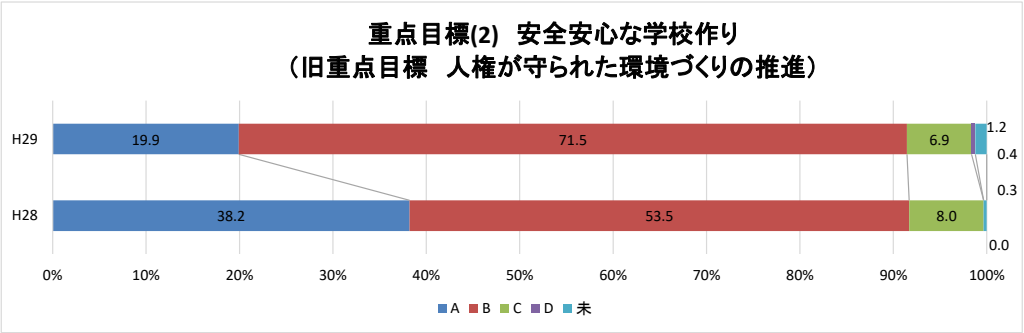
- ・ 具体的方策について『A：達成している』『B：ある程度達成している』の合計が70%以上であれば、自己評価としては目標を達成できていると考える。
- ・ 重点目標4項目「基本的生活習慣の向上」「人権が守られた環境づくりの推進」「学力向上」「希望する進路の実現」の25の項目のうち、23項目で80%以上となり(残り2項目とも79.1%、90%以上は14項目)、で概ね目標は達成されているものとする。
- ・ 「基本的生活習慣の向上」において、「あいさつの励行(教師)」の評価は高いが、保護者からは厳しい指摘をいただいている。また、「礼儀をわきまえた言葉遣いができるよう全職員で確認しあい指導する」は80%を超えたが、保護者の評価ではルールを身につけている生徒が多いと思っていないという回答が増えている。引き続き保護者との意識の差をなくすために、指
- ・ 「人権が守られた環境づくりの推進」については昨年に比べてやや下降しているが、7項目のうち5項目が90%以上となっている。
- ・ 「学力向上」は概ね良好であるが、「自学自習の充実」が課題である。
- ・ 「希望する進路の実現」においては、僅かな変動はあるが概ね良好である。

H28年度・H29年度 重点目標別比較

* 細目の評価観点を変更したため重点目標別の比較になります。

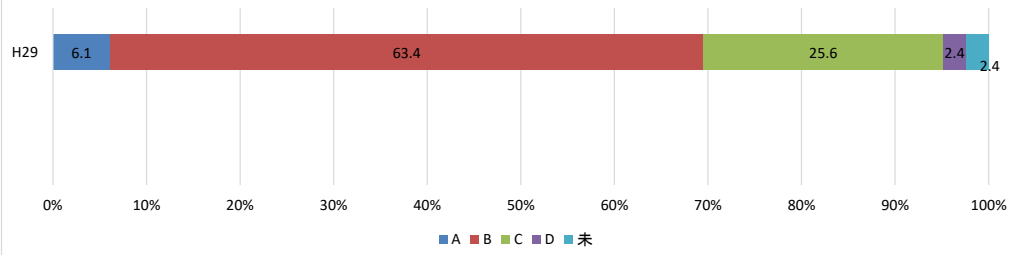


1		H28	H29	前年比
	A	30.8	20.7	####
	B	56.2	68.3	12.1
	C	11.9	11.0	-0.9
	D	0.8	0.0	-0.8
	未	0.4	0.0	-0.4
2		H28	H29	前年比
	A	38.2	19.9	-18.3
	B	53.5	71.5	18.1
	C	8.0	6.9	-1.1
	D	0.0	0.4	0.4
	未	0.3	1.2	0.9
3		H28	H29	前年比
	A	39.9	19.5	-20.4
	B	48.4	66.5	18.0
	C	10.9	11.0	0.1
	D	0.8	0.6	-0.2
	未	0.0	2.4	2.4
4		H28	H29	前年比
	A	30.6	18.9	-11.7
	B	58.5	65.2	6.7
	C	10.1	11.6	1.5
	D	0.0	0.6	0.6
	未	0.8	3.8	2.9
5		H29	前年比	
	A	6.1		
	B	63.4		
	C	25.6		
	D	2.4		
	未	2.4		



■ A ■ B ■ C ■ D ■ 未

重点目標(5) 部活動の奨励と加入率の向上



⑥ 改善された点及び課題と改善策

重点目標(1) 進路の実現(総合学科の特色を十分に生かした教育活動を推進)

1) 進路意識の高揚	四年制大学への進学内定率が上がった。
2) 総合学科の特色を生かした進路指導	総合学習と面接指導が連動していない。
	面接練習を行い際、実際の現場を想像できていない生徒が見られる。“就職する”という自覚をより高める必要があると思います。
	「産社」の時間割作成は事前指導が不十分。オビ表も見直した方がよい。

重点目標(2) 安全安心な学校作り

1) 帰属意識と規範意識の高い学級づくり	自らのことを考えるばかりで、周囲の目を気にすることがない。また規範意識が低い。
	自身で振り返ることはしても周りの先生からの確認は行っていない。
3) いじめのない学校づくり	いじめのない学校づくりについて、全教職員で共通理解がとれている。

重点目標(3) 基本的生活習慣の確立

1) あいさつの励行	教員側からしなければあいさつを行う人が少ない。
3) ルール・マナーの 遵守	怒らなくても注意すれば生徒は直せる
	言葉遣いが乱れている先生方もいる。
	並走運転を堂々としている生徒が多い。

重点目標(4) 基礎基本の徹底と学習習慣の確立を図る

1) 基礎・基本の徹底	ベーシックは基礎学力の定着では一定の効果を見せているが、上位層への学力の向上までには至っていない。
	進め方の見直しが必要(作業になっている)
	数年前に漢字テストの指導について全体を統一したはずなのに、それが崩れてしまい再び学年間で指導の差が生じている。漢字テスト自体は悪いことではないが、そろそろ別の方法で学力の向上を考えた方がいいのではないか。
	実施するのはよいが漢字の指導は国語科
2) 自学自習の充実	週1の進学課外では模試対策なども十分にできず、個別指導も頑張っている生徒の多くは部活動に加入しており、時間の確保が難しい。
	放課後に生徒が自習をする場所が確保されていない。教職員の勤務時間の兼ね合いもあると思うので、検討する必要があると思われる。
	教室にただ残っているだけの生徒が見られる
	定期テストに向けての勉強は行えるが、日々の学習は習慣になっていない。
	場を設けてもしゃべっている者が多い
	だらだらと残り、職員が帰れないときがある。
3) 授業の充実	出来ないと怒鳴る教師がいると聞く。生徒は萎縮してしまうのではないのでしょうか。

重点目標(5) 部活動の奨励と加入率の向上

2) 加入率の向上	生徒が活動する場所を確保することができた。しかし部室はあるものの、実際には使用して活動できない状態である。文化部の活動場所及び使用部室について話し合いの場を設けてほしい。
-----------	---